

安全就業 スローガン『気のゆるみ 慣れと油断が 事故のもと』

シルバーだより第63号

平成22年11月26日発行

次回発行予定日 平成23年1月27日

年間目標1億9千万円 4～9月契約金額9,026万円

会員数342名 男性264名 女性78名（9月末現在）

〒302-0109

（社）守谷市シルバー人材センター
守谷市本町622-2

電話0297-48-8591

E-Mail moriya-sc@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://www.moriya-sc.or.jp/>

FAX 0297-48-8965

I. シルバー人材センターあれこれ

一ノ瀬理事長

60歳以上の元気な人が会員となって、主として請負という形で働くシルバー人材センターは世界に例のない組織です。今から30数年前に発足し現在に至っております。

この組織に入会し就業すると言うことは、単にお金を得ることが目的ではありません。何故なら、会員になっても就業や収入の保証が無いからです。

全国の会員の意識調査の結果から見ても「仲間と仕事ができる、友人ができた」、「健康になった、病院に行く日数が減った」等々、喜ばれる声が多く挙げられております。

さて、当シルバー人材センターも、その理念の通り「臨時的、短期的、軽易な仕事」を希望する会員に公平に仕事を紹介するよう努めておりますが、しかし、現実には会員の増に対し、請負件数の減少が顕著で全員が就業できるだけの仕事はありません。

就業率は平均75%といったところで、ローテーションやワークシェアリングの対応が取沙汰されておりますが、高齢化時代から超高齢化時代と言われる昨今、これは、避けて通れぬ対策と思えます。今後就業先にもお願いし対処せねばと思っております。

事務局では、約25%の未就業者の皆さんに公平に就業案内の「声」をかけております。地域班会議等で「2～3年声がかからないと言う噂を聞くが、本当か」と発言される方がおりますが、そんなことは有りません。声がかからない方はごく特殊な環境におられる方のみでしょう。

事務局は会員の皆様が何時おいでになっても就業等の情報をお話いたしますのでお出かけ下さい。お待ちしております。

Ⅱ. 事業運営報告(平成22年 8月～22年 9月) (平成22年 9月 30日現在)

① 会員数

性別 項目	8月末会員数	9月入会者数	9月退会者数	9 月末会員数	前年度	比較
男性	268	2	6	264	279	-15
女性	83	0	5	78	88	-10
計	351	2	11	342	367	-25

② 事業実績

業種別	9 月実績 A	累計 B	前年同月実績 C	累計 D	比較 (B-D)	構成比 (Bの構成比)
地方公共団体	4,596,915	27,257,934	4,329,261	27,320,216	-62,282	30.2
民間企業	8,220,315	49,949,903	8,992,400	53,574,835	-3,624,932	55.3
一般家庭	2,317,293	12,753,008	2,922,235	12,786,011	-33,003	14.1
独自事業	51,150	306,900	41,850	213,900	93,000	0.4
計	15,185,673	90,267,745	16,285,746	93,894,962	-3,627,217	100.0
配分金収入	12,893,794	76,885,206	13,454,976	79,666,596	-2,781,390	85.2
材料費収入	1,146,197	6,510,685	1,637,960	7,052,744	-542,059	7.2
事務費収入	1,145,682	6,871,854	1,192,810	7,175,622	-303,768	7.6
計	15,185,673	90,267,745	16,285,746	93,894,962	-3,627,217	100.0

③ 就業状況

9月	男	女	計
就業実人員	197	54	251
就業率(%)	74.5	69.2	73.4
期間	男	女	計
就業実人員	226	63	289
就業率(%)	85.6	80.8	84.5

④ 新規就業 (8月～ 9月末)

⑤ 契約解除就業先 (8月～ 9月末)

新規就業内容	就業人員	就業内容	就業人員	契約解除月
なし		なし		
計		計		

⑥ 新入会員紹介(敬称略)

8月計 2人

坂 一二三(板戸井 第7班) 日下野 雅子(松ヶ丘 第3班)

9 月計 2 人

青木 一雄(薬師台 第1班) 下村 清二(本町 第5班)

Ⅲ. 公益社団法人への移行方針を決定

理 事 会

10月26日の理事会で、かねて示されていた茨城県シルバー人材センター連合会の方針と9月理事会での理事長提案に基づき、公益社団法人への移行認定申請を、県当局に対して来年度中に行うことを決定しました。

また、定款第17条により、この方針を会員の皆様に審議して頂くため、平成23年3月総会の議案とすることも決定しました。

今後、県シ連方針の具体化に沿いつつ、新定款草案等、総会議案の準備作業を進めることとなります。

Ⅳ. シルバー会員が高齢者自転車競技大会に元気に参加

この競技会は茨城県交通安全協会と茨城県警察本部が主催する県大会で、高齢者の交通安全意識の高揚と運転技能の向上を図って交通事故防止に寄与しようというのが開催の趣旨です。

従って、参加者は全員が70歳以上で、県内各地区から28チームが出場しますが、第8回目の今年は取手地区代表として守谷から1チーム出すことになり、シルバーにも声がかけられたものです。

シルバーからは5人（一ノ瀬理事長、土屋、高力、牛河内、案浦各会員）、それに市民の方3人計8人が2ヶ月にわたる練習をこなして、10月22日（金）、那珂総合公園アリーナで開催された大会に元気に参加しました。

○ ハードな練習を重ねて…

練習は主として学びの里体育館で行われました。取手市交通安全協会など関係者の方々が模擬競技コースをその都度設営してくださり、9月1日から約2ヶ月にわたり、毎回2時間の練習を重ねました。

指導員が7つの関門

- ① 「出発点」、② 《見通しの悪い》「信号のない交差点の直進」 ③ 「信号のない交差点の直進」（丁字路）
- ④ 「自転車歩道通行可の走行」、 ⑤ 信号のある交差点の右折」（2段階右折）
- ⑥ 「板乗り走行」
- ⑦ 「踏切の通過」などに於ける必要な声出し、停止、合図を指導しています。





右から高力会員、土屋会員、一ノ瀬理事長、案浦会員、牛河内会員の選手メンメン模擬競技コースで、約2ヶ月間老体に鞭打って猛練習を日々続けました。

○競技の結果は・・・

参加8人中5人が競技に出場しました。
 取手地区代表チームは全県28チーム中の第5位、個人では案浦会員が140人中の第6位、土屋会員が特別賞と大健闘しました。
 優勝は下妻地区代表チームでした。



競技大会に挑み大健闘をする高力、案浦、土屋各会員のメンメン





自転車競技大会に参加して

高力会員記
小生は毎日のように自家用車を運転していますが、今回自転車競技大会に参加して一番よかったと思うことは、自転車に正しく安全に乗る訓練を受けて、車を正しく安全に運転することの大切さに改めて気付かされたということです。

競技には歩行者に注意して走行する場面があり、歩行者として人形が置いてあるのですが、それが小さな子供の人形で、うっかりすると見逃してしまうのです。車から見ても、小さな子供は本当に要注意です。左右の確認や後方の確認にしても、小生の車の運転ではまだまだ確認が甘いと思い知らされました。

競技成績そのものは、幸いなことに参加28チーム第5位、個人では会員の案浦さんが140人中第6位、土屋さんが特別賞と望外な好成績を収めることが出来ました。これもひとえに、酷暑の9月から寒冷の10月まで、取手地区交通安全協会、同守谷支部、取手地区交通安全母の会連合会守谷支部、守谷市交通安全指導隊、取手警察署等の皆様が、訓練指導、設営、サポート、激励と精力的に面倒を見て下さり、また練習の日々から大会当日まで、シルバー会員の皆様に終始暖かくご声援いただいた賜物と心から感謝申し上げている次第です。

肝心なことが最後になりましたが、開会式で挨拶された県警本部長のお話によると、茨城県の高齢者の交通事故死者数は全国第1位で、今年は4月から9月まで67人の方が交通事故で亡くなり、去年より6人も増えているのだそうです。

高齢者は横断歩道の横断中とか、家の近所とか、歩行中の死亡事故が多く(油断)、また自転車事故も自動車事故と同じ位発生しています。シルバーでは「気のゆるみ慣れと油断が事故のもと」を安全スローガンにしていますが、自転車競技大会に参加できたこの機会に改めて気持ちを引き締め、お互い、大切な自分の生命を守ることはもとより、家族や共に働く友人たちを悲しませないよう、安全就業と交通事故防止に努めようではありませんか。

案浦会員の談話:競技中はリラックスして競技していたつもりでしたが、終了後はどっと疲れがでました。でも責任が果たせて良かったと満足していません。



案浦会員個人6位入賞

土屋会員は80歳以上の部で特別賞を授与されました。授与後報道関係者に囲まれインタビューを受け、一躍会場のヒーローとなりました。



土屋会員特別賞授与

一躍会場のヒーローとなりました。土屋会員の談話:平成12年3月シルバー人材センターに入会しましたが、今回競技大会に出場でき、特別賞を頂けたのもシルバー会員になったおかげです。感謝しております。これからも健康に気をつけ元気に働いて行きたいと思いを。

健康に気をつけ元気に働いて行きたいと思いを。

IV. リサイクル自転車販売報告

10月24日(日)常総公園で第1回健康スポーツフェスティバルが開催されました。

この会場でセンター会員が丁寧な作業で仕上げたリサイクル自転車を出品し、25台を販売しました。会員の皆さん、シルバー人材センター事務局でも販売しておりますので、ご入用の方は是非お越し下さい。



自転車リサイクル販売所会場 大勢のお客様が品定めをしています

V. 専門部会報告

1. 総務部会

高力理事

- ① 公共機関・民間企業で就業中の仕事班の皆様アンケートを実施しました。
- ② 女性会員との顔の見える関係をどう作っていくか、アンケートや懇談会等を検討しています。

2. 広報・調査部会

加瀬理事

ホームページの活用を協議して、今回は恒例の新年会開催のご案内、リサイクル自転車販売等を「お知らせ」欄に発信しました。会員の皆さん、ホームページを開き、内容を見て下さい。

3. 事業部部会

渡部理事

- ① 第2回安全対策委員会を9月10日当センター会議室で開催しました。席上、各委員より重篤事故を未然に防ぐための方策、問題点等、活発な意見が交わされました。

次回開催は11月10日の予定です。

- ② 「警告書」(通称、イエローカード)発行規程が理事会の承認を得て制定されました。この規程は当センターがすでに発行している「安全就業基準」を基にした事故防止を中心としたものですが、今回規律遵守に対する事項も加えて守っていただくためのものです。シルバーだより第63号を配布時に本規程を添付致しましたので一読願ひ規程制定の趣旨をご理解の上、一層の安全就業をお願い致します。



VI. 平成22年全国シルバー人材センターで発生した重篤事故8月速報

渡部理事

警鐘

前年同期を上回る事故件数

8月は、就業中4件、就業途上3件の事故報告がありました。(全シ協配布資料より抜粋)

性別／年齢	仕事内容等	事故の状況
男性 67歳	就業中 (死亡) 剪定作業	会員2名で発注者宅の庭木の剪定作業終了後、 片付け作業中 に高さ60cmの石段より誤って転落、頭部を強打し、治療するも2日後に死亡、 保護帽は未装着
女性 65歳	就業途上 (入院) 交通事故	業務打合せ終了後、自転車で帰宅中、信号機のある交差点を渡りきる直前、後部から車に接触され転倒し、右頭部を強打。
女性 71歳	就業途上 (死亡) 交通事故	バイクで就業場所へ向かう途中、見通しの悪い交差点で、右方向から走行してきたワゴン車と衝突。

VII. 互助会だより

曾根互助会会長

晩秋の候、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝の事、お喜び申し上げます。

さて、互助会では恒例となっている新年会を来る1月17日（月）に日程が決定しましたので、多くの出席者をお待ちしております。（同封の申込書に記入の上、なるべく早く事務所に提出して下さい）

又、サークルも活発に活動しておりますので、1人でも多く参加し、体を動かして下さい。

① グランドゴルフ（守谷S. G. C） **クラブ会員募集中**



秋晴れのもと、毎週月、水、金曜日、けやき台公園で楽しくプレーをしております。

体験プレーもできますので、お気軽にご参加下さい。

会長：伊藤会員

プレー時間

月、金曜日

9：00～ 11：00

水曜日

13：00～15：00

けやき台公園

③ ゴルフ（守谷シルバー04）

年4回コンペを色々なコースを選び開催しております。前回は10月4日に千代田CCにて開催し、渡辺会員が優勝、2位野口会員、3位岩瀬会員が入賞しました。

③ 囲碁、将棋マージャンの会

毎月、第3日曜日に白寿荘にて9時30分より開催しています。12月には、年1回のマージャン大会を開催する予定ですので1人でも多く参加者をお待ちしています。

④ カラオケ（しあわせ会）

1月に新年会を兼ねて開催する予定です。

VIII. あなたの特技を市の「もりや生き生きライフリーダーバンク」に登録し

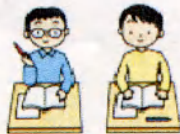
守谷市民の生涯学習の手助けをしていただけませんか

市生涯学習課からシルバー会員の皆さんの特技を「もりや生き生きライフリーダーバンク」に登録し、市の施策成果向上に市民として協力していただけないでしょうか？とお願いがありました。

「もりや生き生きライフリーダーバンク」の目的、登録分野を記載した登録者募集チラシは次頁の通りです。

登録希望者は当センターにお越しく下さい。細かい説明資料を用意しております。

もりや生き生きライフリーダーバンク



登録者募集！！

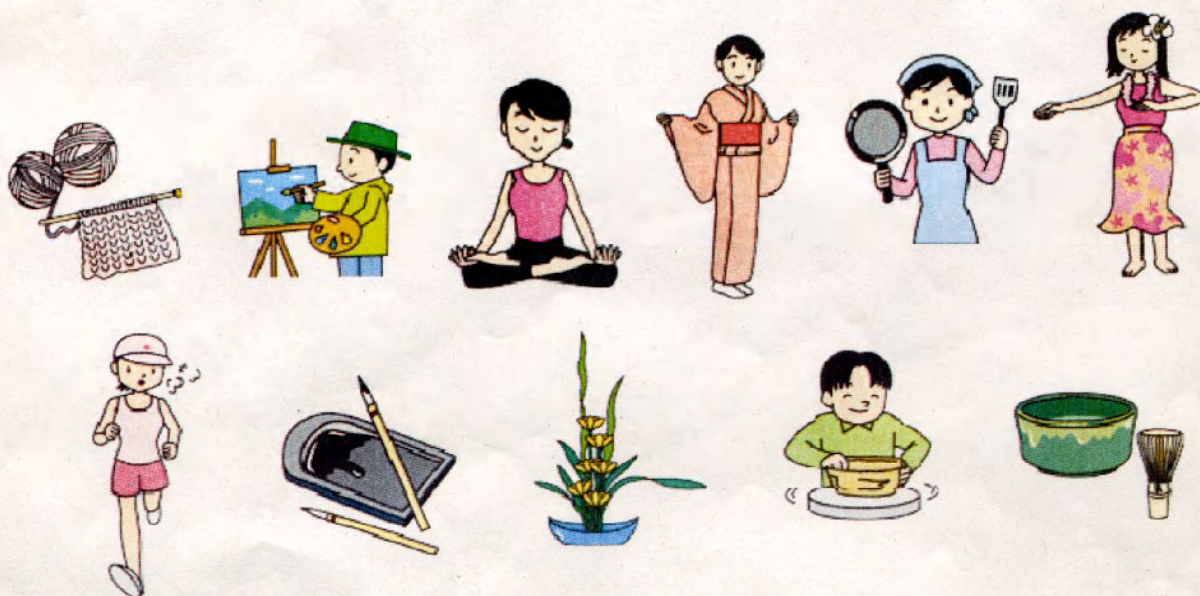


もりや生き生きライフリーダーバンクとは、文化、芸術、スポーツ、レクリエーション等の活動において優れた専門知識及び技能を持つ市民の皆さん方に生涯学習指導者として登録していただき、指導を受けたい方の要請に応じ、指導者をご紹介する制度です。

熱意のある満20歳以上の方であれば、特別な資格等がなくても、登録できます。なお、すでに登録している方は、改めて登録する必要はありません。

- ◆ 応募方法 もりや生き生きライフリーダーバンク登録申請書（市役所生涯学習課、市内各公民館窓口にて用意）に必要事項を記入し、申し込む（随時受付いたします。）
- ◆ 対象 満20歳以上の方で、生涯学習活動に興味・理解がある方
- ◆ 指導内容 ①青少年・親子活動②料理③社会・暮らし④語学⑤コーラス・楽器演奏⑥絵画・創作⑦人形劇・お話し会等⑧舞踊・邦楽⑨華道・アートフラワー⑩手芸・工芸・園芸⑪茶道・着付け⑫書道・硬筆⑬陶芸⑭スポーツ・健康・ダンス等
※ その他様々な内容（例：昔遊び、伝統工芸、ものづくり・庭木の手入れ等）でも登録できますのでご相談ください。

申込・問合せ先 市役所生涯学習課公民館G
TEL 45-1111 内線276



IX. 事務局からのお知らせ

1. 12月以降の配分金支払い日

作業月	10月～11月	11月～12月	12月～1月	1月～22月
支払い日	12月15日	1月17日	2月15日	3月17日

(注) 上表で作業月が2ヶ月に亘っているのは、作業日報の締め日が、月のうち10日締め、15日締め、20日締め、25日締め及び月末締めがあり、作業月が2ヶ月に亘ることによるものです。

従って、月末締めの会員については、支払い日が含まれる月の前の月が作業月(1ヶ月)ですが、他の会員については、作業月が2ヶ月に亘ります。

2. ボランティア活動日 (午前6時45分から30分とします。)

場 所	日 程	日 程	日 程
新守谷駅前	12月6日(月)	1月 休み	2月7日(月)
南守谷駅前	12月20日(月)	1月 休み	2月21日(月)

3. 作業日報提出のお願い

① 就業先の当月作業が終わり次第事務局へ提出して下さい。ファクシミリ、メールでも結構です。

FAX 48-8965 E-Mail moriya-sc@tenor.ocn.ne.jp

締め日(当月就業の終りの日)が土・日・祝日の場合はセンターのポストに投函して下さい。

② 提出に際しては、「就業先」、「会員名」及び「会員番号」を忘れずに記入して下さい。

③ 配分金計算及び顧客先への請求書作成の基礎となるものです。正確に記入し、日数、時間数など自主点検を十分行ってから提出して下さい。

4. 会費の納入及び会費未納会員の退会処理について

シルバーだより61号及び62号でも連絡しているように、22年度会費が未納の会員は**12月10日**までに納入して下さい、再度連絡します。

なお、期限までに納入のない会員については、「社団法人守谷市シルバー人材センター定款」に基づき、12月末日をもって退会したものと見なし会員から外させていただきます。

5. 会員手帳について

2011年版の会員手帳を用意いたしましたので、入用の方は、事務局までご足労下さい。

会員本人の受取りをお願いします。なお、数量には限りがあります。